



## 【第338号 紙面案内】

第1面…第91回全国研究大会解題  
 第2面…第91回全国研究大会 開催校案内  
 第3面…常任理事会・理事会議事録  
 第3面…関東部会からのお知らせ  
 第5面…中部部会からのお知らせ

第5面…中部部会報告  
 第6面…令和6年度 第2回関西部会報告  
 第7面…経営実践コンサルティング部会報告  
 第7面…経営理念研究部会開催のお知らせ  
 第8面…事務局より

## ◇◇第91回全国研究大会 開催校による統一論題解題◇◇

大会実行委員長 當間 政義 (和光大学)

日本マネジメント学会「第91回全国研究大会」は、統一論題『グローバル化時代の経営教育』とし、2025(令和7)年6月6日(金)・7日(土)・8日(日)の日程で、和光大学(東京都町田市)にて開催する予定です。

近年、企業経営を取り巻く経営環境は急速に変化し、その複雑性が増加する傾向にあります。環境経営やSDGsの実現に向けた取り組みが求められる一方で、経営における課題は、“単にどこかを新しくしていけば良い結果が得られる……”といった単なる理論的な変革だけでは解決できないものとなっているのではないのでしょうか。

近年の企業経営は、グローバル化の急速な進行サービス概念の再考、ダイバーシティへの着目、インクルージョンそしてエンゲージメント等々、多岐にわたる課題に直面し、それらを同時に満たすことは極めて困難な挑戦となっています。このような状況下において、改めて注目すべきは人材、特に企業内での「経営教育」の重要性が問われるものと思います。企業が複雑な課題に対応するためには、効果的な経営教育が必要不可欠であると考えられます。そこで、今回の「第91回全国研究大会」では、グローバル化時代の人材、特に経営教育をテーマに議論を進めていきます。韓国をはじめとする諸外国からゲストスピーカーをお招きし、各国の経営教育の知見を共有する予定です。また、企業見学として「ANAのブルーベース(総合トレーニングセンター)」を学びの場として予定しており、具体的な教育プログラムについても学びます。今回の全国研究大会を機会に、日本企業が直面するグローバル化時代の経営教育に着眼し、今後の方向性を検討していきたいと考えております。

## ◇◇第91回全国研究大会 開催校案内◇◇

## 和光大学・大学紹介

大会実行副委員長 永石 尚子 (和光大学)

和光大学は、日本の教育史学の確立者の一人であり、大学制度に関する研究の第一人者でもある故梅根悟（1903年～1980年）によって1966年に創立されました。

梅根先生は和光大学の創立にあたり、「これだけ数ある私立大学のなかに、もうひとつ大学を作るからには、小さくてもいいからダイヤモンドのような本物の光を放つ大学を作りたい」と述べ、その理念を力強く明示しました。そして、第一にうたったのは、「大学は自由な研究と学習の共同体」でありました。大学は何よりもまず学術研究の場であり、そこにおいてのみ大学教育は可能であるとし、徹底した研究と教育の自由の尊重を説きました。また、「大学は学問の自由という理念に基礎づけられた研究者の集団であり、そこで自由で創造的な学術の研究が共同して行なわれているということが、第一義的な存在理由」であること、「単なる目先の実利実用、功利性だけにとらわれない基礎的な研究が活発におこなわれる場」であること、「大学の生命は研究者としての教師」であることを強調し、その理念に基づいた教育を展開してきました。

和光大学は、住所こそは東京都ですが、東京都（町田市）と神奈川県（川崎市）という地理的条件にあり、学舎は自然豊かな地域にあります。この恵まれた環境の中、和光大学で、第91回全国研究大会が開催（対面形式）される予定でございます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

統一論題：グローバル化時代の経営教育

開催日時：2025(令和7)年6月6日(金)～8日(日)

場 所：和光大学（東京都町田市金井ヶ丘5丁目1番1号）

受 付：E棟3階 エントランス

※6/6(金)の企業見学「ANAのブルーベース（総合トレーニングセンター）」（定員制・先着順）を予定しております。詳細については大会プログラム等でご案内いたします。

最寄り駅：小田急線・鶴川駅（和光大学まで徒歩約20分）

バ ス：（土曜日のみ）鶴川駅北口スーパーマルエツ前からスクールバスが出ております。

※8日の日曜日は運休となります。

## ◇◇常任理事会・理事会議事録◇◇

1. 日 時：2024(令和6)年11月2日(土) 14:00~14:45
2. 会 場：(オンライン)
3. 議 題：

## (1) 大会委員会について

韓国経営教育学会への派遣時期は現在5月(日本→韓国)、10月(韓国→日本)であるが、国際委員長より6月(韓国→日本)、11月(日本→韓国)への派遣時期変更の提案があり、承認された。

組織委員長より、第91回全国研究大会について和光大学、第92回全国研究大会について周南公立大学でそれぞれ開催予定との報告がなされた。

自由論題の報告者を増加させるため、各地方部会から推薦をお願いしたいとの報告がなされた。

## (2) 機関誌について

機関誌委員長より、特集論文・依頼論文を各大会原則3本以内、変更の時は理事会を通す旨の提案がなされ、承認された。

## (3) その他

アドバイザーボード選任の報告と、アドバイザーボード会長の理事会オブザーバー参加の提案があり、承認された。

大会運営ノウハウの継承のため、全国研究大会実行委員会の会議に、次期開催校の大会委員長がオブザーバーとして参加という提案がなされ、承認された。

会長から各委員会からの活動計画等を年内に提出してもらいたいとの依頼があった。

総務委員長から学会ホームページ更新の進捗状況に関して、WordPressをベースに変更する旨や、独自ドメインを新規取得する予定などが報告された。またそれに合わせて独自ドメインやホームページに対するアイデア等があれば連絡して欲しいとの要望が出された。

以上

## ◇◇関東部会からのお知らせ◇◇

関東部会長 石毛 昭範 (拓殖大学)

2024年度第3回関東部会につきましてお知らせいたします。拓殖大学茗荷谷キャンパスを会場とし、下記要領にて開催する運びとなりました。会員の皆様におかれましては、奮って

ご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、懇親会出席希望の方は、2月26日(水)までに調整さん  
(<https://chouseisan.com/s?h=3e123a84861e43958bd0447f2859f54e>)にてお知らせください。  
(部会のみ参加の方は、調整さんへの入力は不要です。)

#### 記

日 時：2025(令和7)年3月1日(土) 13:00~16:45

会 場：拓殖大学文京キャンパスC307 教室

会 費：無料(懇親会は別途会費を徴収します)

懇親会：大学周辺(部会終了後)

#### 日本マネジメント学会(2024年度)第3回関東部会プログラム

【開 会】13:00~13:05 関東部会長 石毛 昭範氏(拓殖大学)

【第1報告】13:10~14:10(報告40分・コメント10分・質疑10分)

報告者：西田 陽子氏(明治大学大学院)

テーマ：「企業城下町における中核企業の立地創造行動に関する考察」

コメンテーター：東 俊之氏(長野県立大学)

司会者：仁平 晶文氏(千葉経済大学)

【第2報告】14:20~15:20(報告40分・コメント10分・質疑10分)

報告者：佐藤 俊恵氏(法政大学大学院)

テーマ：「日本のソーシャル・ビジネスの持続可能性に関する史的考察」

コメンテーター：中村 公一氏(駒澤大学)

司会者：村田 大学氏(大原大学院大学)

【特別講演】15:30~16:30(報告45分・質疑15分)

報告者：平田 祐貴氏(EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 公共・社会インフラユニット シニアコンサルタント)

テーマ：「農業経営と農業系ベンチャー経営の最前線」

司会：石毛 昭範氏(拓殖大学)

【閉 会】16:35~16:45 関東部会 副部会長 山中 伸彦氏(立教大学)

※部会では随時、報告者を募集しております。ご報告を希望される方がおりましたら、関東部会執行部までご連絡ください。

2024年度関東部会執行部：

関東部会長 石毛昭範(拓殖大学)([aishige@ner.takushoku-u.ac.jp](mailto:aishige@ner.takushoku-u.ac.jp))(■を@に代えて送信ください)

## ◇◇中部部会からのお知らせ◇◇

中部部会長 村橋 剛史

中部部会では慣例として経営行動研究学会、経営哲学学会と3学会合同で年2回実施しており、随時報告者を募集しています。2025年度の1回目の研究例会(第69回例会)は2025(令和7)年5月に開催予定です。ご報告をご希望の方は中部部会会長・村橋 剛史(TEL: 058-329-1359 E-mail: Murahasi■alice.asahi-u.ac.jp) または幹事の石原俊之先生(E-mail: ishihara■ngu.ac.jp) までお問い合わせください。他の部会の方も可能です。みなさまの積極的な応募をお待ちしております。(eメール送信の際には、■を@に変えて送信してください)

## ◇◇中部部会報告◇◇

中部部会長 村橋 剛史

日本マネジメント学会中部部会は、経営行動研究学会、経営哲学学会と3学会合同で、2024(令和6)年12月14日(土)にJR岐阜駅前のじゅうろくプラザで第67回研究例会を行った。

第2報告は宇都宮大学の土屋翔氏により、「「村八分」におけるメカニズムの一考察 ―組織論からのアプローチ―」と題して、小野琢氏(愛知産業大学)の司会・コメンテーターで報告が行われた。村八分の発生するメカニズムを明らかにし、それが経営における組織論とどのように関連するか報告が行われ、活発な質問、討議が行われた。

第3報告は名古屋産業大学の野間徹氏により、「取引先訪問調査による関係資産の検証～年商4億円の中小製造業の事例より～」と題して、村橋剛史氏(朝日大学)の司会・コメンテーターで報告が行われた。実際の企業の事例について、取引先訪問によるインタビューによって関係資産を明らかにし、企業にどのように価値を生んでいるかについて報告があり、関係資産の性質などについて活発な質問、討議が行われた。

なお、当初第1報告は「ショートタイム・テレワークの推進と発展に関する一考察」と題し、亀倉正彦氏が行う予定であったが、病気のため急きょ欠席となったため、山本毅氏によってKAE理論の基本について講義を行っていただき、この学会の創設者である山城章先生の理論について理解を深めた。

今回も会場とオンラインとハイブリッド開催で行ったが、年末の忙しい時にあったこともあり残念ながら参加者は10数名と少なかったが、JR岐阜駅のカシワヤで懇親会を行い、お互いの懇親を深めることができた。当日ご参加くださった皆様に感謝申し上げたい。

## ◇◇令和6年度 第2回関西西部会報告◇◇

関西西部会長 田中 雅子（帝塚山大学）

2025(令和7)年2月8日(土)午後1時30分から、日本マネジメント学会の第2回関西西部会が大阪成蹊大学で開催された。概要は以下のとおりである。

### ◆研究報告

報告者1：大平 義隆氏（北海学園大学）

テ ー マ：「マネジメントの、二つの全体と個 – K. レヴィン、C. I. バーナードに従って–」

報告者2：高岡 慎一郎氏（甲南大学ビジネス・イノベーション研究所）

テ ー マ：「ラグビー日本代表ヘッドコーチと GM の共同リーダーシップに関する研究」

### ◆実務家講演

講演者：水井 裕氏（株式会社ココウエル 代表取締役）

演 題：「ココナッツでエシカル経営」

今回3名の報告・講演をお聞きして感じたことは、その「真摯な姿勢」である。第一報告の大平氏は3月に退官を控えている。学会では若手や業績を積みたい人が積極的に報告をする傾向があるが、退官間近でも学会に問いかけ続ける姿勢からは、研究とは成熟してこそその新境地を開拓できるものであるということを教えられた。

第二報告の高岡氏はビジネスマンである。仕事をする傍ら研究に取り組むことは、容易なことではない。時間を捻出して寝食を削りながらも、それが行えるのは、追求したい課題があるからだということが伝わった。

実務家講演の水井氏は、大学時代に抱いた問題意識に端を発し、ココナッツを介してフィリピンの貧困問題に立ち向かっている。最近、ソーシャルグッドという言葉がよく言われるが、それを行ううえで、まずはヒューマングッドが大切であることを、一貫して志を貫く活動から感じさせられた。

このように内容のよさもさることながら、ともすれば忘れがちな、しかし年齢を重ねるごとに求められる「真摯な姿勢」が3名から伝わり、それは参加者の心を掴んだようだった。

当日は大寒波の影響から雪が降ったものの、万難を排して会場に足を運んでくださった参加者のおかげもあって、盛会のうちに部会は無事終了した。今回の参加者は、会長、元会長、部会の会長が勢揃いした豪華な顔ぶれとなったことも付記したい。ありがとうございました。



第一報告 大平氏



第二報告 高岡氏



実務家講演 水井氏



集合写真

## ◇◇経営実践コンサルティング部会報告◇◇

経営実践コンサルティング部会長 柴田 仁夫 (岐阜大学)

2024(令和6)年11月16日(土)午後1時から、経営実践コンサルティング部会がオンラインで開催され、登壇者3名及び部会長(司会)を含む15名が参加した(申込は6名。マネジメント実践研究部会からの聴講者が別途5名)。今回のテーマは、近年企業が持続的成長と中長期的な企業価値の向上を実現するためステewardシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードの改訂が続き、企業の人材面、環境面といった非財務情報の開示要求が進んでいることから、「中小企業の情報開示はどこまで進むかーコーポレートガバナンス・コード改訂の影響」とした。

部会長からの解題の後、まず株式会社 Sinc の田中信康氏から東証スタンダード上場企業の役員の立場からコーポレートガバナンス・コードの変遷と実際の企業における対応状況をご講演頂き、その後、横浜を代表する石井造園株式会社の石井直樹氏と株式会社スリーハイの男澤誠氏に両社の情報開示の詳細についてご講演頂いた。

内部情報を積極的に外部に開示している中小企業は現在のところまだほとんど見られないが、最後はこれから中小企業が事業を継続していくためには、大企業と異なる自社の尖った部分を残しながら地域ステイクホルダーを意識した情報開示が必要となるのではないか、という流れでまとまった。

少人数の開催ではあったが、実務に沿った実り多い研究部会であった。登壇した先生方、参加者の皆様には深く感謝申し上げます。



## ◇◇経営理念研究部会開催のお知らせ◇◇

経営理念研究部会長 村山 元理 (駒澤大学)

メールマガジンでお知らせいたしましたように、今回は第88回全国研究大会でご講演いただきました TOPPAN ホールディングス本社の印刷博物館を見学し、印刷文化の歴史とともに同社のパーパスについてお伺いしました。詳細は次号会報にてお知らせいたします。

日 時：2025(令和7)年2月15日(土) 13:50

場 所：TOPPAN ホールディングス株式会社 TOPPAN 小石川本社ビル コンコース  
(〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3)

参加費：1,000円

<プログラム>

- |             |   |
|-------------|---|
| 13:50       | 集合  |
| 14:00       | 開会挨拶<br>経営理念研究部会長 村山 元理氏（駒澤大学）                        |
| 14:10～14:30 | スピーチ「印刷博物館の理念と取り組み」<br>印刷博物館 学芸員 中西 保仁氏               |
| 14:30～15:30 | 印刷博物館見学   |
| 15:50～16:50 | スピーチ「TOPPANのパーパスとブランド」<br>TOPPAN ホールディングス 宣伝部長 佐藤 圭一氏 |
| 16:50～17:00 | 質疑応答  |
| 17:00       | 閉会挨拶<br>経営理念研究副部会長 宇田 理氏（青山学院大学）                      |

**学会事務局より**

◇◇【重要】メールアドレス変更のお知らせ◇◇

すでにメルマガ及びホームページにて会員の皆様に告知しておりますように、学会事務局のメールアドレスが変更になっております。つきましては、事務局へのお問合せやご連絡の際は、必ず新しいメールアドレスをご使用いただきますようお願い申し上げます。なお、事務局の旧メールアドレスは、2月1日以降は使用が出来ませんのでご留意をお願いいたします。

新しいメールアドレス：jimukyoku■nippon-mana.jp

(旧メールアドレス：jimukyoku■nippon-academy-of-management.com)

(■を@に変えて送信してください)

◇◇会員情報の変更連絡のお願いについて◇◇

会報その他によって、定期的に大学・会社等の所属先、自宅住所、メールアドレス、電話等の会員情報の変更がある場合は、事務局へのご連絡をお願いしております。

特に、会報は電子媒体に移行しており、メルマガによる一斉配信となっています。そのため、メルマガの手段であるメールアドレスの変更がある場合は、必ずご連絡を頂く必要が

あります。

つきましては、会員情報の整備・更新のためにも、会員情報の変更があれば速やかに事務局（担当：武市）までご連絡をお願い致します。

本件に関するお問合せやご質問等があれば次のメールアドレスまでご連絡をお願い申し上げます。jimukyoku■nippon-mana.jp（■を@に変えて送信してください）

## メールマガジン・学会ウェブサイトをご利用ください

大会、部会の開催や募集、その他ニュースなどタイムリーにお届けするにはメールマガジンが最適です。ぜひメールアドレスの登録をお願いします。

また学会ウェブサイト（<http://nippon-management.jp/>）では、学会の最新の情報をアップしております。ブックマークへのご登録をお願いします。

### 編集後記

2024年末から2025年にかけて、日産・ホンダの経営統合協議や、第二次トランプ政権の誕生など様々なニュースが入ってきました。経営環境の大きな変化の中、ますます企業のマネジメントが重要となり、マネジメント研究の必要性は高まってくると思われまます。学会報はそのような学会員間のための情報共有として、またアーカイブとして取り組んでまいります。引き続きのご指導とご支援をお願い申し上げます。

（野林、粟屋、東、清水、羽田）

発行 **日本マネジメント学会**  
（旧称：日本経営教育学会）

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5  
九段会館テラス2F  
株式会社山城経営研究所内  
TEL 050-1790-3506

E-mail:jimukyoku@nippon-mana.jp  
URL:<http://www.nippon-management.jp/>

印刷 株式会社ドットケイズ TEL03-5206-1626  
E-mail:win@good-ks.co.jp